

全日演二ユース

2005年6月9日

来年八月、松山市で開催へ

第一〇回全日本演劇フェスティバル

一〇回という節目を迎える全日本演劇フェスティバル。

四国の愛媛県松山市での開催を目指して現地へ要請行動を続けてきましたが、このほど来年開催の目途が立ちました。

開催地に松山を選んだのは、まだ四国で開催したことがないこと、夏目漱石の小説「坊ちゃん」や道後温泉などでよく知られた魅力ある町であること、劇団こじか座の畑野稔さんが松山市芸術祭を主催する文化協会の理事を務めるなどの縁があること等によるものです。

昨年八月に、城谷護事務局長と熊本一事務局次長が畑野稔さんの案内で松山市と文化協会を訪問し、二年後の松山市芸術祭に全日本演劇フェスティバルを取り入れて欲しいと要請していました。その時点で、歓迎の意向は示されたものの、芸術祭の開催時期が毎年十月、十一月と決まっています。私たちが求める八月開催には合わないことと助成金がネックになっていました。

その後、開催時期については八月開催が受け容れられる見通しが立ったのですが、今年五月になって助成金が百五十万円しか下りそうにないとの情報が入ってびっくり。城谷事務局長が急遽松山へ飛び、「出演経費は六集団として四百万円くらいかかる。出演集団や参加者が応分の負担をするとしても二百五十万円は助成してもらえないとやれない」と松山市に再考をお願いしました。その結果、「努力してみましよう」というご返事をいただくことができました。

第一〇回全日本演劇フェスティバル開催要領(案)

主催 松山市芸術祭実行委員会と全日本演劇フェス

ティバル実行委員会との共催

開催日 二 六年八月二十五(金)・二十六(土)・

二十七(日)の三日間(ただし、抽選待ち)

開催地 愛媛県松山市 松山市民会館(大ホール、

中ホール)

内容 十回目という節目のフェスなので、意欲ある集

団の出演を期待するのをはじめ、文化庁長官の

ご出席や著名人の記念講演も実現したい。韓国

からのゲスト出演も。

このフェスティバルへの出演集団を募集しています。

劇団道化、火災カンパの礼状

福岡県太宰府の全り演加盟劇団、道化は今年一月、火災で稽古場を失いました。全り演としても早速カンパをよびかけましたが、多くの劇団からカンパをいただいたとこのとで、道化からお礼状が届きました。今はプレハブの仮稽古場で皆元氣いっぱいがんばっているとのこと。ご協力ありがとうございました。